

ぶぐらいの気持ちを持って接していきたい。(市長)

### 選挙について

**問** 国政選挙と市議会議員選挙の同日選挙は考えているか。市民に政治に関心をもち取組んでいくのか。

**答** 同日選挙は考えていない。投票閉鎖時間が午後8時から6時に繰り上げになること、啓発資材の配布、広報車による啓発、看板設置、広報紙やホームページ等を活用した啓発を行い、広く投票参加を呼びかけたい。(選挙管理委員会委員長)

### 《頓宮美津子》

#### バイオ燃料について

**問** ①非食用植物で油が豊富なジャトロファをバイオディーゼル燃料として活用するため、耕作放棄地で栽培したらどうか。②廃食用油をバイオ燃料として本格事業化させるた

め、岡山市、井原市で始めているようにペットボトルで回収したらどうか。

**答** ①バイオ燃料について本市は全くと言っていいほど考えていなかった。ジャトロファは農産物に危害を及ぼす動物が嫌がるものであり、実用化に向けて、国の動向、他市の事例を研究しながら考えていきたい。②本市では2トングンのディーゼル車1台とワゴン車1台の燃料に廃食用油油を使っている。回収場所を市が確保して市民が直接搬入し、精製業者が回収する

方法が考えられるが、困難な部分も予想され、すぐにはいかない。ディーゼル車でしか使えないとか、冬の廃油の垂れ流しの防止も含まれて検討したい。(市長)

### 学校ICT環境整備事業について

**問** 学校ICT環境整備事業として、国は学校情報通信技術環境整備事業補助金と地域活性化・経済危機対策臨時交付金を合わせて、1校当たり1100万円の積極的予算をつけている。教育委員会としてど

のような計画を申請するつもりなのか。

**答** 文部科学省では、学校ICT環境整備事業、耐震化やエコ改修事業に積極的に取り組むよう指示をし、分かりやすい授業の実現や情報活用能力の育成などを目指して、デジタルテレビへの買い替え、電子黒板機能つきデジタルテレビ購入、児童等へのコンピュータ整備、校内LANなどの整備がこの事業に盛り込

### 《秋山律郎》

#### 一般廃棄物最終処分場について

**問** ①クリーンセンターの焼却灰を他の施設で処分することで平成26年度まで一般廃棄物最終処分場の処分可能容量を確保することであるが、残余容量調査結果によると残余容量はいくらあるのか。②調査結果による今後の建設スケジュールをどのように考えているのか。

**答** ①5月に実施した調査では、計画埋立容量18万8000m<sup>3</sup>に対し、今後埋立可能容量は3万1750m<sup>3</sup>となっている。この結果をもとに過去5年間の実績を加味すると、平成25年11月まで埋立可能という計算になる。しかし、廃棄物の種類、土砂の状況により堆積換算計数が異なるなど変化が想定されることから、今後はこの状況を見極めながら埋立可能容量の把握に努めたい。

②今年度中に適地選定を行い、国県市による循環型

社会形成推進協議会を設置し、平成22年度から循環型社会形成推進交付金を受け、事業を推進したい。できるだけ早く用地買収、環境アセスメントを進め、新一般廃棄物最終処分場を平成27年度までに供用開始したい。(市長)

### 文化財の市指定について

**問** ①総社市での文化財指定は、どのような方針で指定しているのか。②民俗文化財に市指定はないが、民俗に対する市民の関心も高まり、伝統行事等で保存すべきものがある



一般廃棄物最終処分場(下倉)

考えるがどうか。

**答** ①文化財保護条例に基づき、特に重要な文化財の保存活用のため必要な措置を講じて文化の向上と発達に貢献することを目的に指定している。現在、指定基準を文化財保護審議会で検討している。②文化財保護審議会と相談しながら、民俗文化財を合

めた指定文化財候補リストを作成し、必要な調査も行っている。国指定の民俗文化財には備中神楽、県指定は赤米の神饌があるが、市

### 《萱原潤》

#### 道路行政について

**問** 市街地の幹線道路網のあり方は都市計画戦略の根幹をなすもので、秩序ある発展を図る上から、遅れることなく整備計画を推進する必要がある。東総社駅北の市街化が進む中、幹線道路網の現状の認識と今後の市街地活性化のための都市交通戦略をどう考えているのか。

**答** 東西幹線5路線は充実しているが、南北5路線は計画はあっても貫通している部分はなかなか、脆弱である。また、東総社駅の拠点性を行使できていない感があるのも南北軸の欠落によるものと認識している。今後、刑部三須線や、東総社駅から北へ通じる福井支線3467号の

指定はない。新本義民踊り等も候補のひとつと考えている。教育委員会としても指定の拡大を含めて保存活用に努めたい。(教育長)

### 子育て王国そうじゃの実現について

**問** ①子育て王国そうじゃが実感できるまち、目指す子育て王国像を聞きたい。②子どもを安心して産み育てられる総合的底力を備えておくことが大切で、総花的になるのではなく、一点集中して、子育て王国という言葉や柱に各行政分野が連携と連携した総合力の結集が不可欠と考える。今後どのような取り組みや考え方が必要と思っているのか。

**答** ①人を愛せる子ども、地域を愛し感謝できる子ども、こうした人間形成を目指して、子ども本位で育てていくために子育て王国そうじゃがあると考えている。子どもがちゃんと育っている大人になっていく人間になっていくことを目指している。

②子育て王国を実感できるためには、行政だけが先走りしてメニューをつくり子育て王国だと言いつけるのは稚拙。この行政の発信をもとにさまざまな地域、団体の連携が必要。さらに保健福祉部だけの問題でなく、あらゆる課の相互意識、連携によって生まれてくる子どもを優しく迎え入れることができる総社市が真の子育て王国と信じて進めていきたい。(市長)